

サカ シルクロードに残る足跡を辿る

シルクロード英雄列伝の第四回は、シルクロード史を駆け抜けた騎馬民族、サカ族についてのお話です。サカ族は、紀元前6世紀から中央アジアで活躍した騎馬民族で、ギリシヤ人からはスキタイと呼ばれ、中国語では塞と呼ばれていました。現在のキルギス族と深い関わりを持つ、サカ族の歴史に迫ります。

騎馬民族・サカ

紀元前6世紀に、アケメネス朝が中央アジアに進出した際、サカ族はアケメネス朝と接触し、サカイという名でアケメネス朝の属州の一つに組み込まれます。その後、アケメネス朝軍の先鋭部隊、特に騎馬兵として対ギリシヤ戦争にも出征しました。

アケメネス朝の大本営・ペルセポリスに残る謁見の間(アパダナ)の東階段。この壁には、帝国内の属州から集る使者達のレリーフが描かれています。この中に、尖り帽子を被り、帝国に献上する衣類等を持ったサカ族も描かれています。

アキナケス剣を腰にまとい、馬に



ペセポリスに残るサカ族のレリーフ

乗った際に剣が大きく揺れないように紐で結んでいた様子がわかります。アキナケス剣はサカ族が使った両刃の剣で、包丁のように片面ではなく、左右両面がエッジになっているのが特徴の剣です。

また、同じイランのビストゥーンに残るダリウス2世の戦勝記念碑の最後列にも、尖り帽子を被ったサカ族が描かれています。

キルギス人のルーツ

中国の文献では、彼らはもともと、キルギスのイシク・クル(湖)周辺に暮らし塞という名で呼ばれていました。しかし、大月氏という別の民族の侵入を受け、中央アジアからガンダーラ地方に移住したと言われています。

現在のキルギスのガイドから聞いた話では、キルギスの人達は自分の祖先について大きく二つのグループに分かれると考えているそうです。一つは、シベリアを流れるエニセイ川の河畔で生まれ、南下して中央アジアに移ったグループです。南に下ったのがキルギス族で、東に向かったグループが日本に渡来したとの説がキルギスにありま

す。キルギスの人々の中には、日本人とキルギス人は兄弟と考える人もいます。キルギス人は我々と良く似た顔立ちをしています。

もう一つのグループは、サカ族をルーツとする人達です。その説を強く思わされるのが、キルギスの人々が被る伝統帽子・カルバックです。白いフェルトで作られ、尖った形をしています。サカ族もキュルバシアと呼ばれた尖り帽子を被っていました。サカ族の名残が、今でも彼らの帽子に残っているとされています。また、キルギス族が使う布製品の伝統紋様の中にも、サカ族の名残があります。尖った帽子を被った人間のデザインが織り込まれたフェルト製の敷物を、現在でも見ることが出来ます。そして、キルギスの人々が夏の宿営地で利用する移動式住居・ユルトは、様々な形態とデザインのフェルト製の布で覆われています。そのデザインは、水の流れや羊の角などをモデルにしていますが、同じ文様を日本のアイヌの人々が使う被服品の中に見ることが出来ます。このことは、先述の東に向かって渡来した説を裏付けるものかもしれません。



左上/カラ・クル湖畔に残るサカ族の墓。右上/現在のキルギスにあるイシク・クル(湖)。かつてこの湖周辺にサカ族が暮らしていたと言われる。左下/カルバックを被ったキルギス族の男性。

パミール高原に残るサカ族の墓

パミール高原には、サカ族の古代の墓が多く残っています。パミール高原のタジキスタンとキルギス国境近くにある湖カラコルには、サカ族の墓が残っています。石を並べただけのその形は、日本の前方後円墳と全く同じ形をしているものがあります。日本の古墳は、ユーラシア大陸の巨大墳墓文化の影響を受けているとも言われています。

中央アジアからイラン、そして日本にもその足跡を残すサカ族。ユーラシア大陸を駆け抜けた彼らの名残は今も、現在のシルクロードに生きる人々の中に残っています。

関連ツアーのご紹介

キルギスの名峰群と遊牧民文化にふれる特別企画
天山とパミールの懐へ 夏のキルギスアドベンチャー



東京・大阪発着 | 15日間

知られざる山岳国家タジキスタンを巡る
パミール・ハイウェイとワハーン渓谷



東京・大阪発着 | 14日間

メソポタミア文明最高のジグラット・チョガザンビル訪問
ペルシヤ歴史紀行



東京・大阪発着 | 11日間

15の世界遺産、広大なイランの魅力すべてを一度に巡る
大ペルシヤ周遊



東京・大阪発着 | 20日間

COLUMN キルギスの伝統文様とサカ

キルギスの人々は古来から、羊の毛を固めて作ったフェルト製の布を利用しています。ザクロや藍などの天然染料で染められたフェルトには、様々な伝統文様があります。写真は、キルギスの人々が使うフェルト製の敷物ですが、四方の角に頭を向けた4人の人間の姿を現した紋様が織り込まれています。尖った帽子を被った姿です。ここにも、サカ族の姿を見ることが出来ます。



敷物に織り込まれたキルギスの伝統文様